

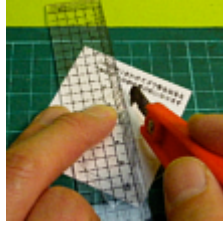
## 【基本技法】

各種ミニチュアライト製作に共通する技法です。

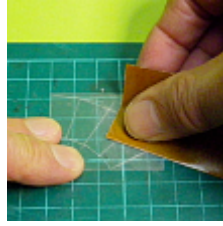
### ■1 プラ板を型紙通りにカットする方法



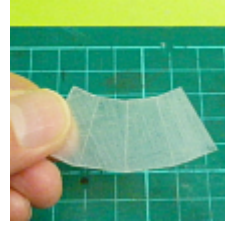
プラ板を型紙より大きめにカットして重ね、動かないようにテープで留めます。テープが型紙の線にかぶらないようにして下さい。



プラ板カッターなどで型紙の線に合わせてスジを彫ります。点線部分はプラ板を折り曲げるところです。深く彫りすぎないようにして下さい。



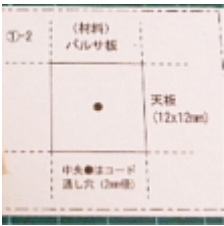
スジをつけ終わったら型紙から外し、プラ板の表面にサンドペーパー（＃240～＃400ぐらい）をかけます。ボンドの接着をよくするためです。



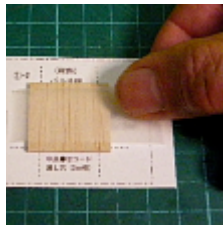
外側のスジ（型紙の実線部分）に合わせてカットします。中間のスジ（型紙の点線部分）は折曲げ線なので切らないこと。

【ペーパーをかける面は？】  
プラ板のどちらの面にかけても構いませんが、跡で和紙を貼る場合は、接着をよくするため外面（スジをつけた面）にかけての方がいいでしょう。  
プラ板の内面（スジをつけた面と反対側）にかけるとすりガラスのような光沢のある表面になります。

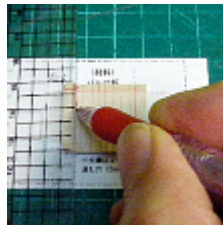
### ■2 バルサ板・極薄ベニヤを型紙通りにカットする方法



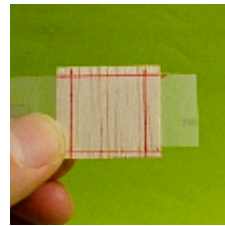
板用の型紙は実線で描かれた部分が加工後の板の形になります。点線は板に線を引くためのガイドラインです。



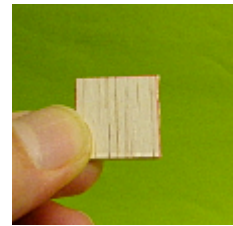
板を型紙の実線部分より大きめにカットして型紙に重ね、メンディングテープなどで留めます。



型紙のガイドライン（点線）に定規を当て、板の上に型紙と同じ図形を描きます。

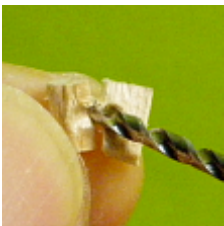


型紙から外し、描いた図形通りにカットします。

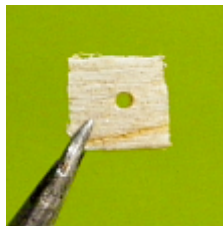


これで型紙と同じ形になりました。

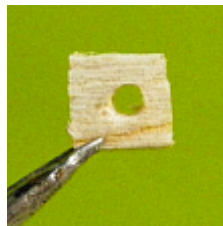
### ■3 板の孔開け



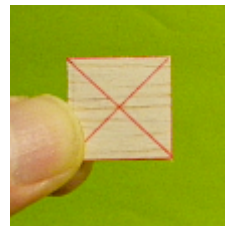
バルサ板は割れやすいので、いきなり2ミリ径程度の孔を開けようとすると、このように割れることがあります。



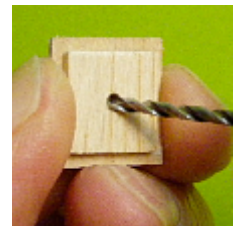
小さなバルサ板に2ミリの孔を開けたいときは、まず1ミリ程度の孔を開けて（上の写真）、その後2ミリに広げる（次の写真）ようにすると板が割れにくいです。



左写真の板にさらに2ミリの孔を開けたところです。この方法の他、板の孔開けを先にやっておいて、後でサイズ通りにカットするやり方もあります。



板の中心に孔を開けたいときは対角線を2本引いて下さい。2本の対角線の交点はその図形の中心となります。



バルサ板とベニヤを貫通する孔を開けるとき（行灯台など）は、板の接着後に孔を開けると割れにくいです。

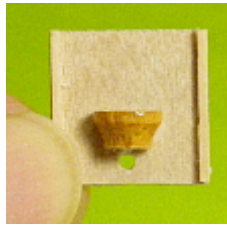
■4 電球台の作り方



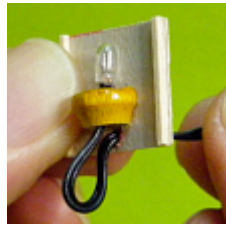
ウッドビーズの側面をそくように切り落とします。孔が残っている方を使います。



ピラニヤのこで半分の長さにカットします。どちらも電球台に使えます



カットした上半分を極薄ベニヤに接着して電球台とした例です。

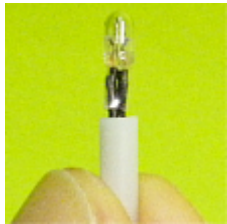


このように麦球のコードを通して麦球を固定します。

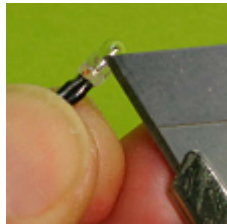


カットした下半分を極薄ベニヤに接着して電球台とした例です。

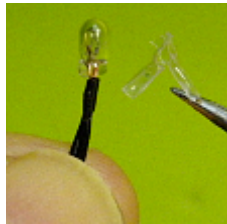
■5 麦球のカバーのむき方



麦球をそのままスリーブに差し込むとカバーが引っかかって根元まで入りません。

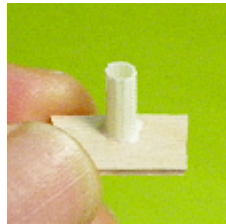


麦球とコードの接続部をおおっている透明カバーをカッターでていねいにむきます。



右に見えるのが取り除いた透明カバーです。これで根元までスリーブに入ります。

■6 耐熱チューブの付け方

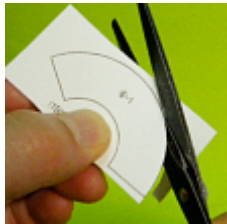


耐熱チューブをハサミで必要な長さにカットし、ボンドで接着します。



天板を実際にかぶせてみてチューブが電球にはまるように位置を調整します。

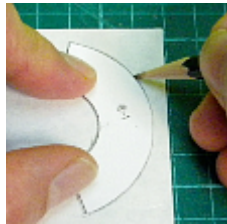
■7 シェード布の加工



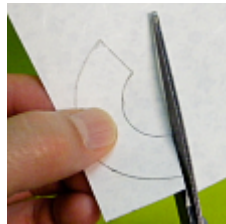
シェード布用の型紙を実線通りにカットします（曲線部分はていねいに）。



カットした型紙です。（写真は⑥-1の型紙）



型紙をシェード布の裏面（紙側）に載せ、エンピツで図形を写しとります。



写した図形どおりにシェード布をカットします。

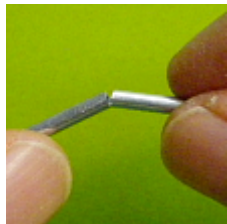


こうやってシェード布を型紙通りにカットすることができました。

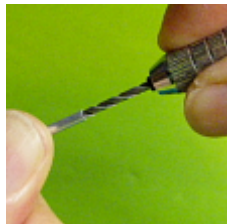
■8 アルミパイプのカット方法



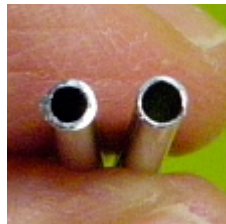
パイプにカッターの刃を当てて転がし切れ目を入れて下さい。



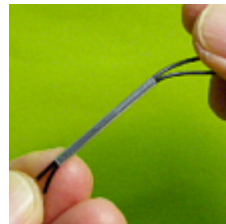
切れ目のところから簡単に折れるようになります。



切り口がつぶれるので、2ミリ径のピンバイスか目打ちで孔を元通り広げて下さい。

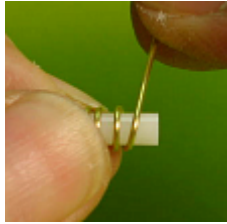


左の切り口はつぶれていてコードが通りません。右は元通り広げた後の切り口です。

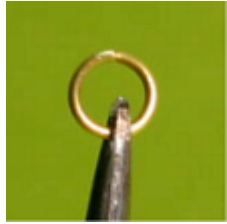


アルミパイプの内径は2ミリなので、麦球のコード2本をギリギリ通すことができます。

■9 しんちゅう線でリング・持ち手を作る方法



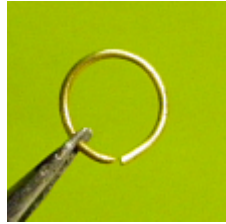
リングを作るときは、しんちゅう線をスリーブか細めの丸棒にきつく巻きます。



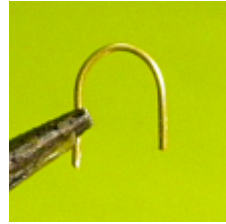
すき間なくきれいに巻いた後で1周分をカットするとリングになります。



カットしただけでは段差が残るので、ラジオペンチなどで平らにして下さい。



行灯の持ち手を作るときは、しんちゅう線を太目のペンに巻いて1周分カットします。



このように端を伸ばした後、適当な長さに切りそろえて下さい。

